

後志教育研修センター学習指導委員会検証授業

国語科学習指導案

日 時 平成19年11月20日(火)

学習者 岩内第二中学校1年2組(29名)

指導者 教諭 竹内 一実

実践テーマ：「話し合い活動を通して、
より理解を深める国語科の学習」

1. 単元名

中学1年 「対話する力」

教材 『少年の日の思い出』(ヘルマン＝ヘッセ, 高橋健二訳)

2. 単元について

○作品価値

この作品は、「わたし」と「友人」が私の書齋で、少年時代の思い出を語ろうとする現在の場面と少年時代に熱中したチョウの収集にまつわる思い出を語る過去の場面からなる。思い出を語る主人公との年齢が生徒に近いことと、子ども特有の知的好奇心、収集欲に繋がるチョウ集めに似た経験が多かれ少なかれどの生徒にもあることなどから、生徒にとって親近感が持てる教材であると考えられる。

また、内容を踏まえた上で、生徒の現実はどういう問いを発してこの作品と関わるだろうか。それぞれの生徒にそれぞれの現実があり、それに対応した問いが生徒の数だけあるだろう。目の前の生徒達は日々友達との関係に悩み、その種のトラブルは尽きない。生徒は異質な者に抗いながら受け入れていく。また、受け入れないで苦しんでいる生徒もいれば、避けて通ることで出合おうとしない生徒もいる。そういう中学生にとってこの作品における「ぼく」と「エーミール」との相違や対立、を読んでいくことは作品の中で他者と向き合うことを経験することと考える。

○身につけたい力

本単元では作品と対話する力、登場人物の心情を理解し自己の心の糧とする力、文章を読み味わう力を身につけさせたい。

○方策

そのために、生徒の実態や学習環境を踏まえて次のような学習活動にしぼって授業作りを構想した。

- ① 情景や心情の描写に着目した「読み」を体験し、そこからどのようなことを読み取ったかを自分の発見として表現する。
- ② 「ぼく」と「エーミール」の人間関係をとらえ、「少年時代のできごとの意味」を考え、それを作品の構成や表現の仕方と結びつけて整理して表現する。
- ③ 「ぼく」の「少年時代のできごと」に対する感想から、自分との比較や自己の振り返り

などを行い、それをわかりやすく表現する。

特に、読み取ったことを踏まえて、感想や意見を述べること、自分と重ね合わせて作品世界にひたることとそれを交流すること、この作品では人間関係をどのように向き合おうとしているかを考えることなど、自分自身の発見や追究をとにかく自分の言葉で表現することにしぼっていきたい。そのためには、小グループでの話し合いや全体への発表力などを育てておく必要がある。作品を読み深めていくと同時に、話し合いや発表の練習的な学習も織り込んでいくことになる。

3. 生徒の実態

入学当初のアンケート調査では、「国語が好き」という生徒は4割程度で半数以上は「国語は嫌い」と答えた。理由として「漢字を覚えるのが苦手」という回答が多かった。また、話し合いや発表なども十分とは言えず、特に聞き手を意識して活動することが出来なかった。

方策として、国語以外でもディベートなど意図的に話し合わせる活動を行ってきた。その結果、4月当初に比べ思ったことを言葉にすることは力がついてきた。一方、発表・交流活動については引き続き方法、内容共に課題である。

読む能力については、作者の心情を積極的に読み取ろうとする。また、登場人物をイメージしながら心情を理解しようとする。しかし、根拠が無いこともあるので、日頃の学習活動においては「本文に即して考える」ことを伝えている。

4. 研究の視点との関わり

視点1：「基礎的・基本的な知識や技能を習得及び活用する学習活動」と「これまでに培われてきた力を発揮して問題解決に取り組む探究的な学習活動」を効果的に盛り込んだ単元構成の工夫改善

本単元の学習では、「作品を通して、作者の意図や主人公の人物像を理解し、共感したり批判しながら自分なりの考えを持つ」そして、「自分なりの考えを他者と交流し、思考を柔軟にしたり広げたりする」活動が考えられる。例えば、「ぼくのチョウに対する思いや行動の心情を読み取る《習得》」→「なぜそのような心情に至ったのかを根拠に基づいて考える《活用》」という活動である。指導計画の3/6時まで「読み取り」の学習をし、4, 5/6時で「登場人物との対話」の学習へと進む。更に、「主題に対する自分自身の読みを確認し人間の『心の世界』の深さを実感することで、他の外国文学の作品への興味を深める《探求》」の学習を行う。(指導計画6/6時)これを意識して単元を構成することにより、より「作品と対話する力、登場人物の心情を理解し自己の心の糧とする力、文章を読み味わう力」を育むことが出来ると考える。

視点2：問題解決的な学習を基盤とし、「課題意識(問題意識)」を持ちながら、解決

に向けた「自分なりの考え」をもとに「仲間と共に学び合う場」を意図的に設定した学習過程とその指導の在り方の工夫改善

本単元では、登場人物の心情を理解しそこから自分なりの考えを持ち、他者の考えを聞きながら読み取りや自分の考えを深める事を大切にしたいと考えた。その方策として、

- ・登場人物の行動から心情を読み取る事で、自分なりの考えを持つ。
- ・仲間と共感的・批評的に考えを交流することで、自分の考えを深める。

本時では、読み取った内容を基に登場人物の心情について考える（活用）学習を行う。自分の考えと仲間の考えを比較し交流させることで自分の考えを深めさせたい。登場人物の心情を理解し自分の考えを持つことが出来ても根拠から外れ主観的では読み取ったことにはならない。そこで、仲間の考えと交流することで自分の考えを確認したり、深めたりすることが出来ると考えた。

視点3：単元を通した意図的・計画的な評価を次の指導に生かしていくための工夫改善
単元での身につけさせたい力を定着させるために、診断的、形成的、総括的評価を指導計画に盛り込み、授業実践する中で必要に応じて改善工夫をする。

評価の方法

- ① 初発の感想の中の疑問や共感部分を集め、着目すべきできごとや場面の展開を明らかにする。（診断的な評価を通して、読み進めていく課題を明確にする。）
- ② グループごとに話し合い、全体への発表を通して、感想や意見の根拠となる作品の表現に戻ることをしっかり行う。（形成的な評価を通して、情景や心情の表現の仕方に注意させる。）
- ③ 最後の場面のできごとについて考えたことの発表を通して「心の世界」の深さを実感させる。（総括的な評価を通して、主題に対する自分自身の読みの確認、外国文学に対する興味や関心の度合いなどについて意識させる。）

5. 単元の目標

作品との対話や読者同士（生徒同士）の対話によって読み深め、主題を考えることが出来る。

本単元の評価規準

観点	関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
評価規準	作品に対しての初発の感想や題名からの自己を回想し進んで書く。 他の外国作品のことを知り、関心を持つことが出来る。	場面毎に登場人物の心理について根拠に基づいて考えることが出来る。	明暗を表す言葉が情景・心情にもたらす効果をつかむことが出来る。

1 単 位 時 の 評 価 規 準	1	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な自己の少年の日の思い出の発表をしている。 ・範読をよく聞き、メモなどを取っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字工房やワークを使って、新出漢字の読み書きが出来るようになっている。 ・明暗を表す言葉が情景・心情にもたらす効果を捉えている。
	2		<ul style="list-style-type: none"> ・場面展開と「ぼく」の心情を関連づけて読んでいる。 	
	3 ～ 4		<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」の捉えた「エーミール」と、それに対する自分の考えや意見を持っている。 ・本文の根拠に基づいて「ぼく」の心情を読み取り、それに対する自分の考えや意見を持っている。 	
	5		<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の状況や出来事を踏まえて、「ぼく」の気持ちを想像している。 ・他者の発表をメモを取りながら聞き、読みを深めている。 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に即してないように関わる感想を持っている。 ・この作品をきっかけに外国文学を読み広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に即して感想を持ち、自分との比較や自己の不利帰りを言い、それをわかりやすく表現している。 	

【関心・意欲・態度】

- ・初発の感想・疑問などを積極的に言葉で表現する。

【読む】

- ・少年時代のできごとの意味を考え、心の世界の深さを知る。
- ・作品の主題について考える。

【言語に関する知識・理解・技能】

- ・情景や心情の表現に着目し、その効果について考える。

6. 指導計画（6時間）

時	主な学習内容・思考の流れ	教師の関わり・評価規準
1 習 得	<div data-bbox="256 398 692 483" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなにとっての少年の日の思い出を語ろう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は幼い頃～に夢中で…。 ・私は小学3年生の時から～をずっと集めていて…。 ・僕は4年生の時にズボンのチャックが…。 <div data-bbox="256 797 692 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんな作品か読んでみよう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物は？ ・何にはまっていたの？ ・何が起きたの？ ・どうしてそんなことしたの？ <div data-bbox="256 1070 692 1193" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作品と出会った感想を書こう！（二人の会話を色で表すと何色になるだろうか）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、チョウをつぶしてしまったんだろう？ ・なぜ、ヤマユガを盗んでしまったんだろう？ ・赤色＝熱情的な蝶の収集をしていたから。 ・紺色＝苦い思い出だから。 	<div data-bbox="740 398 1390 577" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>まずノートに書かせる。その後班内で発表させ、その後全体で数名発表させる。思い出を出し合うことで、作品との共通点であることを確認する。</p> </div> <p>【関】具体的な発表ができたか。 (発表・観察・ノート)</p> <div data-bbox="740 667 1409 757" style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>出来事だけでも書いてみよう。</p> </div> <div data-bbox="740 797 1390 1021" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による朗読を聞きながら、あらすじをとらえ、新出漢字の読みなどを確認する。 ・表現の仕方や語り口調などからドイツ文学の特徴を伝える。 </div> <p>【関】範読を良く聞き、メモなどを取っているか。(観察)</p> <div data-bbox="740 1111 1390 1290" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った表現、疑問等を意識して初発の感想を書かせる。 ・明暗を表す言葉が情景・心情にもたらす効果を伝える。(ドイツ文学の特徴) </div> <p>【言】新出漢字の読み書きが出来るようになったか。(ワーク)</p> <p>【関】本文に即して内容に関わる感想が持てたか。(ノート)</p> <p>【言】明暗を表す言葉が情景・心情にもたらす効果を伝える。</p> <div data-bbox="740 1765 1409 1854" style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>一言の感想でもいいから書いてみよう。</p> </div>

<p>2 習 得</p>	<p>作品の3つの「山場」を確認し、「ぼく」の気持ちの変化を想像しよう。</p> <p>「過ち」</p> <ul style="list-style-type: none"> どうしてもヤマユガを見たい、欲しい、盗む→満足 やっぱり返そう、つぶしてしまった→恥ずべきことをした。取り返しがつかない。 <p>「告白」</p> <ul style="list-style-type: none"> 母親に打ち明ける→勇気 エーメールの家に行く→詳しい説明をしようとした。 エーメールに軽蔑的に見られる→もうどうしようもない。 <p>「決別」</p> <ul style="list-style-type: none"> エーメールに許して貰えない。→一度起きたことは許して貰えないことを知った。 チョウチョをつぶした。 <p>3つの「山場」から考えたことをノートにまとめる。</p>	<p>想定した「山場」はそれぞれどのようなできごとで、どのような場面であるのか「ぼく」の気持ちを想像しながら確認させよう。</p> <p>【読む】場面展開と「ぼく」の心情を関連づけて読むことができたか。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな失敗をしたの? まずは誰に告白をしたの? エーメールにどんなことを言って謝ったの? エーメールに許して貰えず「ぼく」はどうしたの? <p>「山場」が「ぼく」の喪失＝成長と結びついていくことに気づかせる。</p>
<p>3 ～ 4 習 得 活 用</p>	<p>「ぼく」の中の「エーメール」について話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> この少年、隣の子ども ↓ エーメール 「嫌な奴。でも、共通の趣味を持っている人。仲良くなりた い。認められたい。」 	<p>「ぼく」が「エーメール」を呼ぶ言葉に注意して考えさせ、根拠に基づいて発表させる。</p> <p>【読む】「ぼく」のとらえた「エーメール」と、それに対する自分の考えや意見を持つことができる。(ノート、観察、発表)</p> <p>「ぼく」はエーメールにどんなことを言われたの?</p>

	<p>最後の場面の「ぼく」の気持ちを想像しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度起きたことは取り返しがつかないという覚悟 ・嫌なことは忘れてしまいたい ・なんて俺は馬鹿なんだ。もうチョウチョを集める資格なんてない。 	<p>最後の場面の「ぼく」の行動について状況やできごとを踏まえて、心情を考えさせる。</p> <p>【読む】本文の根拠に基づいて「ぼく」の心情を読み取り、それに対する自分の考えや意見を持っている。</p>
5 構 活 用	<p>自分の蝶を押しつぶしてしまふ「ぼく」の心の中をどのように説明するか。</p> <p>司：蝶を集める資格がない…。 ：償いのため。</p> <p>発：同じことの繰り返し。 ：おもしろかった。</p> <p>知：八つ当たりだったのではないか。 ：忘れてしまいたいのではないか。</p>	<p>グループ内で役割を決めて話し合いが順調に進行するように支援する。また、各グループの話し合いの内容をメモする。</p> <p>【読む】本文中の状況やできごとを踏まえて、「ぼく」気持ちを想像することが出来るか。（観察、発表、ノート）</p> <p>・ 役割の内容の確認 ・ 他者の意見を聞き、自分の意見になかった意見を見つけさせる。</p> <p>発表は全グループ行う。教師は各グループの発表を聞きながら黒板にまとめる。</p> <p>【読む】他者の発表をメモを取りながら聞き、読みを深めているか。（ノート）</p>
6 探 求	<p>「ぼく」に対する感想や意見をノートにまとめよう。</p>	<p>「ぼく」がどのように変わっていったかをとらえて、それに対する考えや意見をノートにまとめさせる。次に発表・交流を行い、共感したり、新たな視点に気づかせたりする。</p> <p>【読む】 本文に即して感想を持ち、自分との比較や自己の振り返り等を行い、それをわかりやすく表現しているか。 (ノート)</p>

<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">外国文学にも興味を持ち、読書の範囲を広げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘッセの他の作品を読んでみよう。 ・他の作者の作品を読んでみよう。 ・他の外国の作品を読んでみよう。 	<p style="border: 2px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">図書室に外国文学作品コーナーを作り興味ある作品と出会いどんどん読んでいけるような環境作りを行う。</p> <p>【関】 この作品をきっかけに、外国文学を読み広げることができたか。</p>
--	---

7. 本時について

登場人物の心情を発表・交流することで、自己の読み取りに対して、根拠に基づきながら他者の意見も聞き、練り合うことで読みを深める力をつけたい。

そのための方策として、話し合いが深まるように役割分担を明確にして話し合いを進めさせる。

8. 本時の目標と評価規準

《本時の目標》

最後の場面の出来事について考えたことの発表を通して人の「心の世界」の深さを実感することが出来る。

《評価規準》

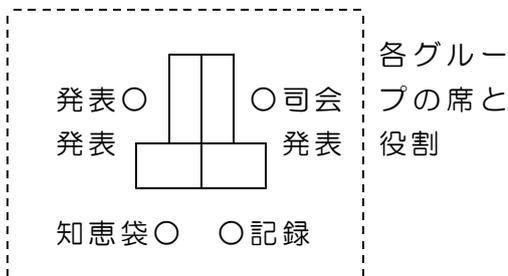
【読む能力】

自己と他者の意見を、根拠に基づきながら比較し、より深い心情を読み取ることが出来る。

9. 本時の展開 (5 / 6 時間)

	主な学習活動・思考の流れ	教師の関わり・主な評価規準
導 入	課題を確認して、活動の仕方を確認しよう。	<p>① 前時を振り返る。</p> <p>② グループ毎に話し合いの仕方を確認する。</p>
	自分のチョウを押しつぶしてしまう「ぼく」の心の中をどのように説明するか	<p>朗読を聞くことを通して内容を確認する。</p> <p>【関】教科書やノートを振り返り、積極的に内容を確認しているか。(観察)</p>

グループ毎に話し合いのルールに従って、課題について考えたことを話し合おう。



司：蝶を集める資格がない…。
 発：同じことの繰り返し。
 知：八つ当たりだったのではないか。

司：償いのため。
 発：がむしゃらで何も考えていない。
 知：忘れてしまいたいのではないか。

課題に対する各グループでの話し合いを報告し合い、多様な読みを探ろう。

- ・自分が許せなかったのではないか。
- ・思い出を無くそう（封印）としたの

【話し合い方】

- 1, 「司会」が提案として自分の読みを発表する。疑問や質問に答えながら、読みを深める。
- 2, 「発表」は自分の読みを発表する。
- 3, 「知恵袋」は両者と異なる視点からの読みの可能性を発言する。
- 4, 「記録」による班の読みの整理。

【話し合う内容】

「押しつぶした」できごとをめぐって、きっかけになったできごとや理由、その時の「ぼく」の心情、「押しつぶした」ことの意味を「ぼく」やその他の立場から考えることなど多様な読みを引き出したい。

グループ内で役割を決めて話し合いが順調に進行するように支援する。また、各グループの話し合いの内容をメモする。

【読む】

- ・本文中の状況やできごとを踏まえて、「ぼく」の気持ちを想像することが出来ているか。（観察、発表、ノート）
- ・役割分担を果たしながら読み取った自分の意見を発表しているか。（ノート・観察）

- ・役割の内容の確認
- ・他者の意見を聞き、自分の意見になかった意見を見つけさせる。

発表は全グループ行う。教師は各グループの発表を聞きながら黒板にまとめる

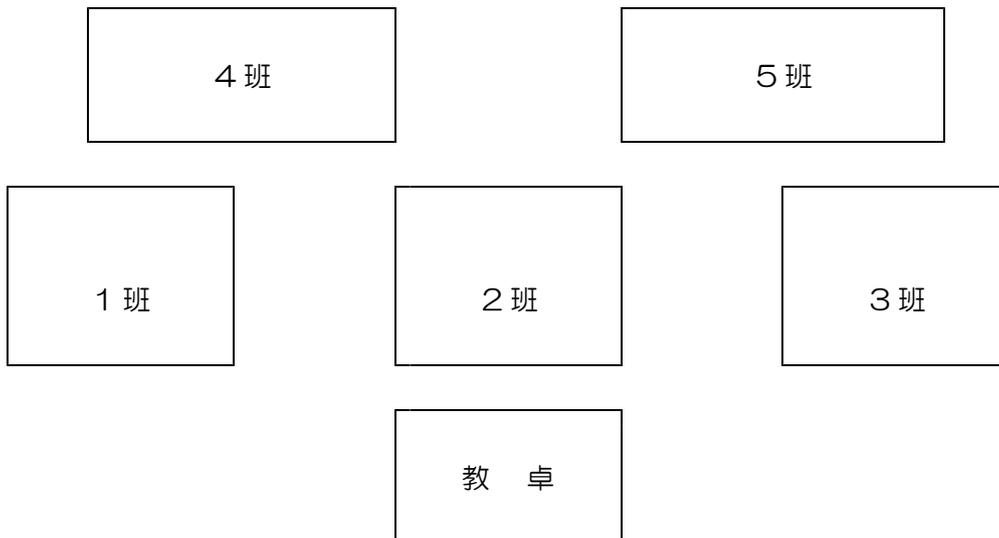
【読む】他者の発表をメモを取りながら聞き、読みを深めているか。（ノート）

	ではないか。	
ま と め	意見交流し、発表し合っ て気づいたことをま とめよう。	生徒に言葉を出させ ながらまとめる。
	まとめ 償いやもう二度と同じ 過ちを繰り返さないとい う決意、更に自分には チョウ収集の資格がない などの気持ち。 (人間の心理は単純で はない。いくつもの思 いが交錯している。)	次回の予告

10. 板書計画

少年の日の思い出 ヘルマン・ヘッセ 高橋健二 訳 最後の場面を読む	各グループの考え 結論↓根拠で発表する	1, 自分が許せない エーミールが許せない	2, 過ちを犯すおそれ。 エーミールへの嫉妬。	3, 4, 5,	まとめ 償いやもう二度と同じ過ちを 繰り返さないという決意、更に 自分にはチョウ収集の資格がな いなどの気持ち。 (人間の心理は単純ではないいくつもの 思いが交錯している。)	自分の蝶をつぶしてしまう 「ぼく」の心の中をどの ように説明するか。
---	------------------------	--------------------------	----------------------------	----------	---	--

話し合い班配置表



話し合い班構成表・メモシート

* 予想される声かけ、指示

1班 知恵袋：ST

NT、RI、KN、FK（他者との意見の違いをメモさせる）

--

2班 知恵袋：KS

MS、SS、TM、YS（失敗を恐れず発表させる）

--

3班 知恵袋：KY

RT、MT、RW、HS、AT（本教材を学習していない）

--

4班 知恵袋：KS

AD、KA、MS、KN（失敗を恐れず発表させる）、AS（本教材を学習していない）

--

5班 知恵袋：KH

AT、KY、TE、HS

--